



福島南ロータリークラブ

基本方針：原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878

例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375

HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：斎藤信男 斎藤善重 佐々木孝光 丹治洋子

第17回例会

平成24年11月7日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/41名 ■出席率/61.19% ■メイクアップ/22名 ■修正/63名 ■修正率/94.03%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 誕生日祝い
三浦 善治 会員 (S. 4. 11. 10)
菅原 節子 会員 (S. 23. 11. 20)
丹治 洋子 会員 (S. 29. 11. 25)
- 4 ロータリーの友読みどころ
- 5 ゲストスピーチ
福大生国際交流サークル「カラーズ」
- 6 閉会点鐘

会員の広場 <地区大会開催 H24. 11. 17-18>

いよいよ国際ロータリー第2530地区2012-2013年度の地区大会が間近に迫ってきました。今年、伊藤 浩ガバナーの「ロータリーの精神を实践しよう」というテーマのもとにどんな演出が待っているのか楽しみです。残念ながら参加できない会員の方は、28日の地区大会報告をお待ちください。

今日の一面記事

オバマ大統領の再選確定で金融政策や規制めぐるの不透明感が緩和。目先は株式下落・債券上昇の可能性。
(11/7 ロイター)

◆会長あいさつ◆

紺野 仁昭 会長

はじめに、先週、強力なハリケーン「サンディ」がアメリカ東部などに上陸し、100余名の方が亡くなりました。ニューヨークでは停電や公共交通機関の運休、原発も3基が停止するなど、甚大な被害が出ております。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。つきましては、当クラブより見舞金として10万円を、できましたらホノルルサンライズRCを通じまして送りたいと思っておりますので、皆様にお知らせいたします。

次に、今月、3名の方がお誕生日を迎えられます。おめでとうございます。後ほどお祝いを差し上げたいと思います。

また、本日の例会はゲストスピーチとなっております。先ほどご紹介いたしましたCOLORSの2名の方に活動報告スピーチをいただきます。後ほどよろしくお願いたします。

以前に、福島南ロータリークラブと福島大学との連携・協働により企画・開催いたしました「学生の方で世界と繋がろうプロジェクト」が、NHKで全国放送されましたのは皆様もご存じの通りですが、今回、ロータリーの友に2ページにわたり掲載され

ました。ロータリーの友編集委員会に 全国から寄せられる1000件以上の記事の中から選ばれたのは、事業が評価された結果ではないかと思ます。詳しくはロータリーの友読みどころで紹介されます。さて、今月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団の管理委員会は 未来の夢計画の標語、使命声明、優先事項を採択しました。標語は「世界でよいことをしよう」。使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。優先事項は、6つの重点分野で、《平和と紛争予防/紛争解決》、《水と衛生設備》、《疾病予防と治療》、《母子の健康》、《基礎的教育と識字率向上》、《経済と地域社会の発展》であります。エコキャップ運動のポリオプラス基金はロータリー財団を支援するプログラムで、撲滅の証明が達成されるまで、最優先プログラムです。財団への支援を通じて、ロータリアンは人々の生活向上に貢献することが出来ます。是非、財団にもご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、先週福島消防署より感謝状をいただいた話をいたしました。今年が寄付を始めて10年目ということいただいた感謝状でしたので、付け加えてご報告いたします。

◆誕生日祝い◆

丹治 洋子親睦活動副委員長

11月は3名の方がお誕生日をお迎えになりました。おめでとうございます。



- 三浦 善治 会員 (S. 4. 11. 10)
- 菅原 節子 会員 (S. 23. 11. 20)
- 丹治 洋子 会員 (S. 29. 11. 25)

◆ロータリーの友読みどころ◆

福田 昌明 会員



11月号の32項から33項にかけて、「学生の方で世界とつながろう」プロジェクトとして、廣澤俊樹前復興支援室長の寄稿が掲載されました。同記事から最も感銘したことを抜粋してご紹介します。「私は人生最大の醍醐味は縁だと考えている。ロータリーもまたしかり、業界や仕事などでの出会いとは違い、第三者への奉仕の下に集まった者たちが、職業や、年齢を超え縁を結ぶこの楽しさがロータリーだと考えている。」

◆ゲストスピーチ◆

福島大学国際交流サークルCOLORS

社会奉仕委員会 菅野良二副委員長



去る9月19日から24日まで福島大学国際交流サークルの学生たちとフィリピン共和国へ同行し、フィリピン大学の学生と、現在の福島の状況等について話し合ってきました。本日は、同サークルを代表して2名の学生が報告に来てくれました。

※ 矢野 美咲さん ※



本日は、このように報告をする機会をいただき、そしてお招きありがとうございます。菅野良二さんに特に応援していただいて今回のこの研修が実現しました。

本当にありがとうございます。

まずは、フィリピンの基礎情報をご紹介します。フィリピンで出会った人々は明るく笑顔が素敵な方々ばかりでした。また、ホスピタリーにあふれていておもてなしの精神が素晴らしかったです。マニラの街並みについてですが、一つの市の中にビル街もあれば、スラムもありました。格差が目に見えた

ことが印象的でした。食事については、バナナや子豚の丸焼きなど、ローカルフードをいただけてきました。

2日目に訪問したトゥガン小学校は、菅野良二さんが1996年に寄贈されました。私達をパレードで出迎えてくれ、感極まって潤むメンバーも一人じゃありませんでした。人懐っこい子供たちの笑顔に元気をもらいました。心からの歓迎が大変うれしかったです。この子供たちには、菅野良二さんが日本で集めてくださったボールペン1000本と、ぬいぐるみなどを贈りました。うれしそうな表情と、ぬいぐるみを大事そうに抱える様子を見て純粋にうれしくなりました。今後も支援を続けていきたいという思いがより強くなりました。

※パトエルデネ・ラクヤンジンさん※ (モンゴル出身)



フィリピン大学は、同国を代表する国立大学です。国内に15のキャンパスがあり、私たちが訪れたのはマニラキャンパスで、「TOMOKAI」というクラブの学生たちと交流をしたわけですが、彼らは、日本の文化にとっても興味を持っていて、日本の漫画やアニメが好きです。また、何人かの学生は日本語を勉強しているようです。

TOMOKAIの活動報告に続いて、私たちは東日本大震災と、福島の復興の様子や福島の現状について英語でプレゼンテーションしました。フィリピンの大学生たちに福島のことを知ってもらい、現在の福島を伝えることが目的でした。そのために、私たちが一人ずつ震災の体験を話しました。このことによって私たちは、スピーチへの自信を深めるとともにとても勉強になりました。

その後、自由討論会を行い、両国について楽しく知ることができ、今後、どのように彼らと交流を図っていくかについても議論しました。フィリピンの学生たちと私たちがこれからも交流を深めることにより、真の国際交流が築ければいいなと思います。

今月・来月のプログラム

- 11月14日(水) クラブフォーラム 第6回理事会
成蹊高校 IAC 例会エコキャップ 引渡式
- 11月18日(日) 第2530地区大会(ユラックス熱海)
- 11月21日(水) ゲストスピーチ
地区ロータリー財団委員会
三富 邦基 副委員長

(訂正)
第16回会報の今月・来月のプログラムで11月28日のゲストスピーチは11月21日の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

—編集後記—

縁あって、学生さんたちの素晴らしい体験に耳を傾けることができた。当方、フィリピンの青い海と、モンゴルの大草原にはまだ縁がないが、いつかはという思いがある。今夜は、この入稿が終わり次第、廣澤さんの寄稿をじっくり拝読したい。(さとう)